

どうする？塩尻市の公共施設 あなたの声が必要です！

公共施設の未来を考えるアンケート

～公共施設の未来を共に考えませんか？～

日ごろ、本市のまちづくりにご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

塩尻市は、人口減少や公共施設の維持管理費の増加という大きな課題に直面しており、このままでは将来にわたって安定した公共サービスの提供が困難になる可能性があります。

そこで、より良い塩尻市を次世代へ引き継ぐため、公共施設の数や規模を見直し、再編を進める必要があります。この取り組みは、市民の皆さん日々の暮らしに深く関わる非常に重要なものです。

本アンケートは、皆さんと共にこれから公共施設をより良いものにしていくため、今後のあり方や現在のご利用状況について貴重なご意見を伺い、今後の施設運営や整備方針に反映させることを目的に実施いたします。

ご多用のところ恐れ入りますが、ぜひ、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、アンケート結果については、後日塩尻市公式ホームページにて公開する予定です。

※設問は全部で 20 問です。

※回答時間の目安は10 分程度です。

WEB回答の方はこちらから →



https://apply.e-tumo.jp/city-shiojiri-nagano-u/offer/offerList_detail?tempSeq=61247

■参考資料

広報しおじり 令和6年12月号「公共施設のミライ」

こちらからご覧ください →



YouTube

「私たちの街の公共施設、これからどうなる？ ~大切なサービスのために知っておきたいこと~』

こちらからご覧ください →



公共施設の利用頻度について

問1 公共施設をどのくらい利用していますか。(施設ごとに1つ選択してください。)

No	施設名称	利用頻度 (施設ごとに1つ選択)				
		月1回以上	2～3か月に1回程度	年に1～3回程度	過去1年間に利用していない	一度も利用したことがない
1	総合文化センター(中央公民館)	<input type="checkbox"/>				
2	えんぱーく(貸館・フリースペース)	<input type="checkbox"/>				
3	えんぱーく(図書館)	<input type="checkbox"/>				
4	えんぱーく(子育て支援センター)	<input type="checkbox"/>				
5	えんてらす(貸館・フリースペース)	<input type="checkbox"/>				
6	えんてらす(図書館)	<input type="checkbox"/>				
7	えんてらす(子育て支援センター)	<input type="checkbox"/>				
8	レザンホール(塩尻市文化会館)	<input type="checkbox"/>				
9	支所・地区センター(図書館を除く) 【例示】大門、高出、塩尻東、片丘、吉田、宗賀、北小野、洗馬、楓川	<input type="checkbox"/>				
10	図書館分館(支所内) 【例示】塩尻東、片丘、吉田、宗賀、北小野、洗馬、楓川	<input type="checkbox"/>				
11	文化財施設 【例示】島木赤彦寓居、塩尻短歌館、古田晁記念館、中村邸、贊川関所	<input type="checkbox"/>				
12	自然博物館(小坂田公園内)	<input type="checkbox"/>				
13	平出博物館・平出遺跡公園ガイダンス棟	<input type="checkbox"/>				
14	本洗馬歴史の里	<input type="checkbox"/>				
15	木曽漆器館	<input type="checkbox"/>				
16	天体観測ドーム(いこいの森公園内)	<input type="checkbox"/>				
17	総合体育館(ユメックスアリーナ)	<input type="checkbox"/>				
18	市立体育館	<input type="checkbox"/>				
19	広丘体育館	<input type="checkbox"/>				
20	武道関係施設(市立柔道場、相撲場、弓道場)	<input type="checkbox"/>				
21	塩尻トレーニングプラザ(ヘルスパ塩尻)	<input type="checkbox"/>				
22	市営野球場	<input type="checkbox"/>				
23	市営総合運動場(塩尻警察署西側)	<input type="checkbox"/>				

No	施設名称	利用頻度 (施設ごとに1つ選択)				
		月1回以上	2～3か月に1回程度	年に1～3回程度	過去1年間に利用していない	一度も利用したことがない
24	屋内ゲートボール場(市営総合運動場北側)	<input type="checkbox"/>				
25	檜川運動場	<input type="checkbox"/>				
26	檜川屋内運動場(すぱーく檜川)	<input type="checkbox"/>				
27	小中学校の一般利用(体育館、グラウンド) 登録団体が利用申請して利用するもの	<input type="checkbox"/>				
28	小坂田公園	<input type="checkbox"/>				
29	道の駅木曽ならかわ(地場産業振興センター)	<input type="checkbox"/>				
30	ウイングロード(こども広場、コア塩尻を除く)	<input type="checkbox"/>				
31	こども広場(ウイングロード内)	<input type="checkbox"/>				
32	コア塩尻(ウイングロード内)	<input type="checkbox"/>				
33	ふれあいセンター(東部、広丘、洗馬)	<input type="checkbox"/>				

問2 【問1】で「過去1年間に利用していない」・「一度も利用したことがない」を選択した方にお聞きします。その理由は何かですか。(複数選択可)

- | | | |
|---------------------------------------|---------------------------------------|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 利用する機会・理由がない | <input type="checkbox"/> 開館・利用時間が合わない | <input type="checkbox"/> 交通の便が悪い |
| <input type="checkbox"/> 施設、サービスが良くない | <input type="checkbox"/> 施設の存在を知らなかつた | |
| <input type="checkbox"/> その他() | | |

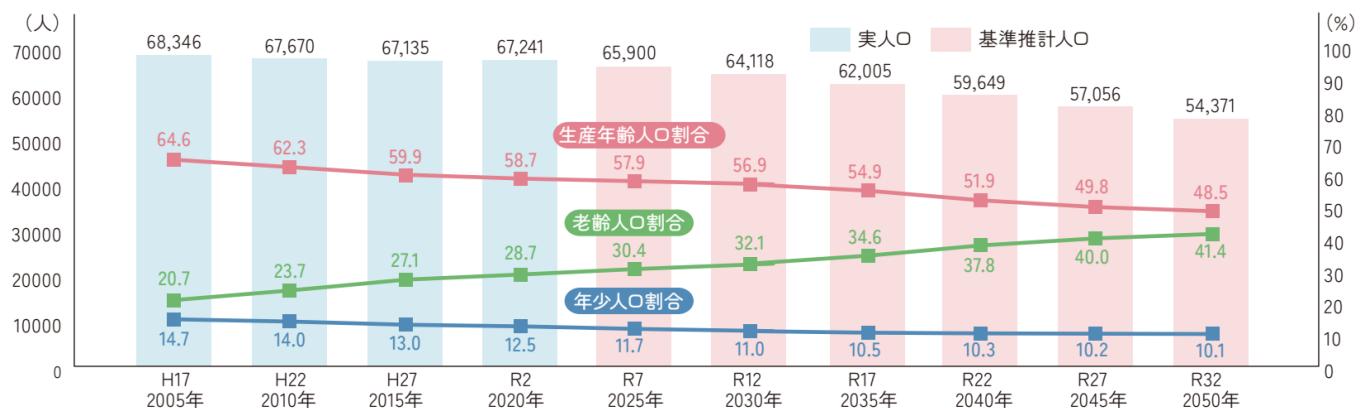
今後の公共施設のあり方について

市では、人口減少や公共施設の適正な維持管理にかかる費用の増大が深刻化しており、公共施設の数や規模を見直していく考えです。将来にわたる持続可能なまちづくりのために、あなたのご意見をお聞かせください。

以下は、塩尻市の今後の人口の推計です。

20年後には 約8,800人(13%)の人口が減少 ↘

▼ 3年齢区分人口構成比(基準推計人口)



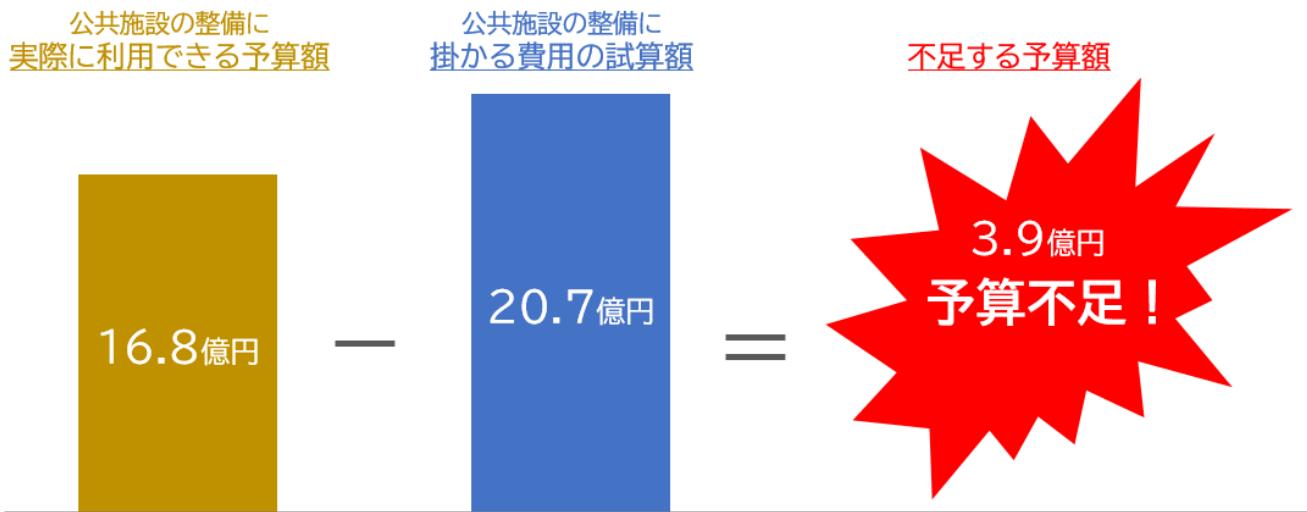
- ・市全体の人口は、平成17年・2005年にピークを迎え、以降は減少傾向。
- ・人口減少はこれまで緩やかだったが、今後は20年で約13%の人口減少となる見込み。
- ・今後、人口構成が大きく変わり、特に社会を支える中心となる「生産年齢人口割合※」が大きく減少する。

※生産年齢人口割合…15歳以上65歳未満の人口の割合

- ・人口構造の変化により、公共施設への社会ニーズが大きく変わる可能性がある
- ・公共施設を支える働き手の減少により、未来の世代に大きな負担を背負わせることになる

以下は、塩尻市の公共施設の整備にかかる費用をまとめたものです。

30年間(令和4～33年度)の公共施設の整備にかかる費用と不足額(年平均)



- ・公共施設の整備にかかる費用は、令和4年度から令和33年度までの間、年平均約 20 億円と予測されている。
- ・しかし、実際に利用できる予算は約 16 億円であり、毎年約 4 億円もの不足が見込まれる。

- ・必要な投資ができず、建物の老朽化が進み、安全性や機能面に影響が出る可能性がある
- ・財源の制約により「他の市民サービスにしわ寄せがいく」可能性がある

問3 今後、市では人口減少や財政状況を踏まえ、市全体の公共施設の数や規模を見直していく考えです。このことについて、あなたのご意見をお聞かせください。

- 人口、財政状況に応じて公共施設の数・規模を減らした方がよい
- どちらかといえば人口、財政状況に応じて公共施設の数・規模を減らした方がよい
- どちらともいえない
- どちらかといえば公共施設の数・規模を増やし、充実を図った方がよい
- 公共施設の数・規模を増やし、充実を図った方がよい

問4 今後、公共施設の数や規模の見直しを進める場合、施設やサービスで特に重視することについて、あなたのご意見をお聞かせください。(1つから3つまで選択してください。)

- 交通の便・利便性の高い場所での立地(公共交通機関での行きやすさ、市街地への立地など)
- 多様な機能の集約(一つの施設で様々な目的が果たせる、幅広い世代が利用できる機能など)
- 提供されるサービスの質(専門性の高いサービス・相談体制、講座・イベント内容など)
- 施設の質(清潔さ、安全性、バリアフリーなど)
- 地域の拠点としての機能(住民の交流スペース、地域活動への活用のしやすさなど)
- 利用しやすい開館時間・曜日(平日夜間や土日祝日の利用のしやすさなど)
- 特に重視する点はない
- わからない

問5 その他、公共施設の数や規模の見直しを進める場合、施設やサービスで特に重視すること、将来にわたって残すべき施設があれば、ご意見をお聞かせください。

()

今後的小中学校のあり方について

次に、今後の児童生徒数の変化に対応した、将来の小中学校のあり方についてお伺いします。

現在の推計から、このままでは多くの学校で児童生徒数が大幅に減少し、小規模化が進むことが想定されます。

将来を担う子どもたちへ、本市の目指す教育を持続的に行う環境を提供し続けるために、学校の規模や配置、施設の利用方法など、今後の教育環境について皆さまのご意見をお聞かせください。

以下は、塩尻市の児童生徒数の今後の見込みについてまとめたものです。

※児童生徒数の見込みは、塩尻市が独自に算出したものです。(1クラスは35人を上限としています。)

		今後の児童生徒数の見込み						
		10年後		20年後		30年後		
		2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055
小学校	塩尻東小学校	クラス数	12	12	12	11	6	6
		児童数	340	317	266	221	191	163
塩尻西小学校	クラス数	12	12	12	12	12	12	6
		児童数	310	280	295	275	243	220
桔梗小学校	クラス数	24	23	23	21	18	18	18
		児童数	748	688	687	636	592	567
広丘小学校	クラス数	19	17	17	17	15	12	12
		児童数	591	487	450	435	415	384
吉田小学校	クラス数	16	12	12	12	12	12	12
		児童数	457	351	347	360	388	368
片丘小学校	クラス数	7	6	6	6	6	4	3
		児童数	187	110	66	47	38	27
宗賀小学校	クラス数	8	7	6	6	6	6	6
		児童数	201	157	107	87	78	66
洗馬小学校	クラス数	8	6	6	6	6	6	6
		児童数	197	148	103	76	60	46
両小野小学校	クラス数	6	6	6	6	6	4	3
		児童数	102	82	59	42	32	26
楢川小中学校(前期)	クラス数	6	6	3	3	3	3	3
		児童数	46	29	25	20	14	10
中学校	塩尻中学校	クラス数	9	9	10	9	9	6
		生徒数	293	302	294	262	226	198
広陵中学校	クラス数	15	17	15	15	12	12	12
		生徒数	488	537	476	456	404	379
丘中学校	クラス数	15	12	10	11	11	11	9
		生徒数	439	402	304	319	311	318
塩尻西部中学校	クラス数	8	7	6	3	3	3	3
		生徒数	220	207	138	95	79	67
両小野中学校	クラス数	3	3	3	3	3	3	2
		生徒数	58	50	39	26	19	15
楢川小中学校(後期)	クラス数	3	3	3	2	2	2	2
		生徒数	36	19	14	13	9	7

- すでに一部の地域では小規模校化が進んでいる。
- 中心部は大規模校もあり、地域によって違いが大きい。

※学校規模の標準（学校教育法施行規則）

小中学校の学級数は、12学級以上18学級以下を標準とする。

ただし、地域の実態その他により特別の事情のあるときは、この限りでない。

- すでに一部の地域で児童生徒数の減少が顕著で、今後、さらに加速していく
- 地域間で学校規模の差が拡大していく

問6 これからの学校の規模や配置を検討していくうえで、大切だと思うことをお聞かせください。(項目ごとに1つ選択してください。)

No	項目	大切だと思う	やや大切だと思う	どちらともいえない	あまり大切だと思わない	大切だと思わない
1	通学距離・通学にかかる時間、通学路の安全性	<input type="checkbox"/>				
2	十分な教職員の配置と専門性の確保	<input type="checkbox"/>				
3	通学する学校が同じ地区内にあること	<input type="checkbox"/>				
4	他の公共施設(支所や保育園等)と複合化され、多様な利用ができること	<input type="checkbox"/>				
5	地域と学校の交流・連携が活発であること	<input type="checkbox"/>				
6	教育の質を確保できること	<input type="checkbox"/>				

子どもたちが効果的に学び、成長していくためには、1学年あたり何クラスが望ましいですか。

問7 小学校

1クラス 2クラス 3クラス 4クラス以上 わからない

問8 中学校

1クラス 2クラス 3クラス 4クラス 5クラス以上 わからない

問9 これからの学校のあり方について重要だと思うことがあればお聞かせください。

()

問10 今後、児童生徒数の減少が見込まれる中、より良い教育環境を実現させるため、学校施設のあり方について、あなたのご意見をお聞かせください。

再編(統合など)を進めた方がよい
どちらかといえば再編(統合など)を進めた方がよい
どちらともいえない
どちらかといえば再編(統合など)はしない方がよい
再編(統合など)はしない方がよい
児童生徒数が少なくても、様々な公共施設(例:行政機能、文化施設など)と複合化をして残すべき

施設の使用料について

公共施設の維持・運営に関する費用は、税金と、施設利用者が負担する使用料により賄われていますが、特に近年、物価上昇により、施設の維持管理費用が増加傾向にあります。本市では、令和8年度に財源確保と負担の公平性の確保のため使用料等の見直しを行います。

問11 物価上昇等による施設管理費用の増加に対応して、使用料等の引き上げをすべきだと思いますか。

- 引き上げるべき 引き上げるべきではない わからない

問12 使用料等の見直しにより増額となった場合、増額割合は何倍程度であれば容認できますか。

- 3倍以上 2.5倍 2倍 1.5倍 1.5倍未満

問13 使用料等について、塩尻市民と市外住民との間に差を設定すべきだと思いますか。

- 全施設一律に同一の差を設定すべき
施設ごとに柔軟に差を設定すべき
差を設定する必要はない

問14 一部の施設の使用料について、利用者の属性(高齢者、子ども、障がいのある方等)による区分や、利用目的等に応じ、通常の料金から軽減又は免除する制度(減免制度)を設けています。減免制度について必要だと思いますか。

- 必要 必要はない

問15 その他、減免制度についてご意見があればお聞かせください。

()

あなた様ご自身について

問16 年齢をお聞かせください。

- 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代 回答しない

問17 性別をお聞かせください。

- 男性 女性 回答しない

問18 お住いの地区をお聞かせください。

- 大門地区 塩尻東地区 片丘地区 広丘地区 高出地区 吉田地区 洗馬地区
宗賀地区 北小野地区 檜川地区 回答しない

問19 中学生以下の子様がいらっしゃる方は、就学状況についてお聞かせください。(複数選択可)

- 未就学児 小学生 中学生 回答しない

自由意見

問20 公共施設について、あなたの考え(公共施設について感じていること、利用している理由など)を自由にお聞かせください。

()

アンケートへのご協力ありがとうございました

以上で質問はすべて終了です。ご協力ありがとうございました。

最後に、お答えいただいた貴重な回答を有効に利用するためにも、今一度、全体を見直していただき、記入漏れ等のご確認をお願い申し上げます。



アンケートの提出方法について

ご記入が済みましたら、お手数ですが、同封の封筒(切手不要)にお入れいただき、
9月29日(月)までに、お近くの郵便ポストへご投函ください。



アンケート結果のご報告について

ご協力いただいたアンケート調査の結果は、市の公式ホームページで報告する予定です。



アンケートへのお問い合わせについて

問い合わせ先:

塩尻市 公共施設マネジメント課

TEL :0263-52-0601(直通)

メール :shisetsu@city.shiojiri.lg.jp